

意見の概要及び意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）

No	意見の概要	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
1	<p>社会教育の充実の取組の中で「地区公民館のICT環境の整備に努めます」とありますが、子どもたちは学校でタブレット端末が配布され、デジタル化が急速に進んでいます。</p> <p>公民館は避難所にもなりますし、地域の拠所で、学習や趣味の教室などいろいろ行われています。</p> <p>別府市や福岡市などの公民館では公衆無線LANが整備されているようです。</p> <p>日田市でも、子どもはもちろん、大人や高齢者の学びや集いの場である公民館のICT環境の早急な整備をお願いします。</p>	<p>現在、地区公民館ではパソコン教室やスマホ教室を公民館が主催で開催する際に一時的に、ネットワーク環境を提供しています。</p> <p>しかしながら、常時、自由に利用できる環境ではありません。</p> <p>今回の計画の見直しにより、地区公民館のICT環境の整備を計画に追加しており、公衆無線LANの整備について進めてまいります。</p>
2	<p>全国的に不登校の児童生徒数が増加傾向だという新聞記事を目にします。不登校の児童生徒の過ごす場所として市内にもフリースクールがあると聞き及んでいますが、最近の新聞記事で、福岡県のある市がフリースクールの利用料の補助を行うとあり、全国的にも先進的な取り組みであるとのことでした。</p> <p>聞いたところによると、フリースクールの利用料は月に3万円を超えるそうです。不登校のお子さんを抱えた保護者の方は精神的な負担に加え、経済的にも負担が大きいように感じます。教育行政実施方針にも不登校対策等の充実・強化として「親の会やフリースクール等の民間団体等との連携を強化していきます」と記載されていますが、福岡県の市のように、何か具体的な取り組みを行う考えはないのでしょうか。</p>	<p>日田市でも不登校の児童生徒数は増加の傾向にあり、フリースクールなどの学校以外の学びの場の確保は必要だと考えています。</p> <p>そのため、日田市でも、令和6年度から、学校と児童生徒の状況について連携を行う体制がとれるフリースクールについては、そこに通う児童生徒の保護者に対し、利用料の補助を行う予定としております。</p> <p>また、不登校の児童生徒が学校以外の機関等と少しでもつながりを持てるように、日田市教育センターにおいて、オンラインによる相談等の取組も、令和6年度から実施する予定としております。</p> <p>今後も、福祉、医療等の関係機関や親の会・フリースクール等の民間団体とも連携を強化しながら、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の充実に取り組んでまいります。</p>